

日本食糧新聞

The Japan Food Journal
日本食糧新聞社
 東京都中央区八重洲1-9-3建物ビル
 〒103-0028 電話03(3271)4815(代)
 FAX03(3271)4818
 ◀編集・広告・購読▶
 東京都港区西新橋2-21-2
 第一商校ビル(〒105-0003)
 ☎03(3432)5700(大代表)
 編集・広告 FAX03(3432)4888
 購読 FAX03(3578)9432
 ホームページアドレス
<http://www.nissyoku.co.jp/>

フードスペシャリストに聞く

山崎鷹義さんは高校生の時から食品業界での仕事を志した。「高校生の時に食品の偽装事件が出たして、これからは食品業界が伸びるかという先生のアドバイスもあった。大学は食品が環境と考えていたが食品を作るのが好きで、製造の現場で希望通りのことをやっている」と話す。



山崎さんは東京聖栄大学

ユーハイム

山崎鷹義さん (東京聖栄大学健康栄養学部食品学科卒業)

健康栄養学部食品学科在学中にフードスペシャリストの資格を取得、09年4月に洋菓子製造販売の老舗ユーハイムに就職した。

希望通り製造現場へ

高校時代から食品界志す

ユーハイムではこれまで3年は採用数が減少して、昨年はおよそ50人が入社した。このうち3分の2が大卒だという。入社後には神戸の本社で数日間の集合研修を受け、1週間で3カ所の部署を回って配属が決まる。製造部門の若手社員を

3年間ドイツに派遣して製菓学校に通わせ、マイスターの資格を取得する制度もある。

山崎さんは、千葉・船橋工場の製造2課PS班に配属され、生クリームを絞ってチョコレイトや果物をトッピングするといった生クリームに関する知識がなかった。船橋工場では100人ほどの正社員と正社員の人数を上回るパート従業員が勤務している。「ものを作るのが好き。机に座っているより体を動かす方がいいので製造を選んだ。最初の趣味やプロ野球のことを



ユーハイム船橋工場

品に関する知識がなかった。船橋工場では100人ほどの正社員と正社員の人数を上回るパート従業員が勤務している。「ものを作るのが好き。机に座っているより体を動かす方がいいので製造を選んだ。最初の面接官の印象が良かった。人見知りする方だが、趣味やプロ野球のことを話した。」

「ユーハイムは」最初の面接官の印象が良かった。人見知りする方だが、趣味やプロ野球のことを話した。山崎さんの趣味は小

るよりの日曜と水曜といった休みの方がいい。友達と合わせるの難しいが不便はない。木曜から土曜の週末やクリスマスをはじめ、バレンタイン、ハロウィン、母の日などイベントの時期は生産量が多いので帰宅が遅くなることもある。「忙しくなるので連休が嫌いになった。イベントの中でもクリスマスのは半端ではなかった。予想以上だった」と振り返る。

現場では「班長や主任は監督するだけだからかわりがない」と思っていたが、現場で仕事をしているの、いろいろと教えてもらいプラスになっているという。

入社から1年、年間のイベントも間もなく一巡しつつある。